

参加者の感想



明日の走井を考える会
事務局 **小林 義康** 氏

学生さんを始め、たくさんの方に活動に参加していただき、とても喜んでます。皆さん、前向きに取り組んでくださるので、労力的にも大いに助かっています。皆さんの熱心な姿勢に、こちらも大きな力をいただいています。

(R2. 株式会社パソナ滋賀、
R4. 立命館大学経営学部と協定締結)



立命館大学
経済学部
教授 **佐野 聖香** 氏

学生たちには、効率的な農業を目指すだけでは解決できない、棚田地域が抱える課題に積極的に関わってほしいと考えています。協働活動を行う走井集落とは距離が近いだけでなく、前向きな地域の雰囲気や協定締結の決め手になりました。同様の取組が各地に広がっていくことを願っています。

(R4. 明日の走井を考える会と協定締結)



コープしが
西地区運営事務局
石本 与志夫 氏

協働活動を行う知内という地域をもっと皆さんに知ってもらい、またそこにかかわる人のことも一緒に知ってほしいと考えています。今後は、地元の方と体験交流に参加された都市住民の方の交流をもっと深めていけるような取組内容を考えていきたいです。

(R4. 知内農業組合と協定締結)

お問い合わせ先

滋賀県農政水産部農村振興課

〒520-8577 滋賀県大津市京町4丁目1番1号



077-528-3963

お近くの滋賀県の窓口(地方機関)

大津・南部農業農村振興事務所田園振興課

〒525-8525 草津市草津三丁目14-75



077-567-5415

甲賀農業農村振興事務所田園振興課

〒528-8511 甲賀市水口町水口6200



0748-63-6121

東近江農業農村振興事務所田園振興課

〒527-8511 東近江市八日市緑町7-23



0748-22-7722

湖東農業農村振興事務所田園振興課

〒522-0071 彦根市元町4-1



0749-27-2222

湖北農業農村振興事務所田園振興課

〒526-0033 長浜市平方町1152-2



0749-65-6622

高島農業農村振興事務所田園振興課

〒520-1621 高島市今津町今津1758



0740-22-6034

詳しくはこちら
県HPへ



しがのふるさと 支え合いプロジェクト

農山村でつながる。

新しい風が吹いてくる。



遊休農地で育てたクルミの実(甲賀市)



大学と連携した柿祭り(高島市)



遊休農地で育てたパプリカ(近江八幡市)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

17

パートナーシップで
目標を達成しよう



滋賀県

しがのふるさと支え合いプロジェクトに

わたしたちの暮らしを支える中山間地域

「中山間地域」とは、山間地とその周辺の地域をいいます。滋賀県では、県土の約65%が中山間地域です。ここでは、地域の状況に応じた様々な農業が展開され、県農業において重要な位置を占めています。中山間地域は私たちが生きていくのに必要な食糧生産の場であるだけでなく、水田で雨水を一時的に蓄えて洪水や土砂崩れを防いだり、多様な生き物を育みます。また美しい農山村の風景は、私たちの心を和ませる役割を果たしています。特に、本県の中山間地域は、近畿圏約1,450万人の水源である「琵琶湖」を取り囲む形で存在し、多くの人たちの暮らしを守っています。近年、これらの地域にある農山村では、人口減少や高齢化、それに伴う農業の担い手不足などが原因で、耕作放棄地が増えたり、祭りなどの伝統文化の継承が難しくなっていますが、住民の力だけでは農山村を維持するのが厳しい状況になりつつあります。



▲ 農業・農村の持つ機能イメージ図 (出典：農林水産省 WEB サイト http://www.maff.go.jp/j/nousin/noukan/nougyo_kinou/)

参加してみませんか？

プロジェクトについて

「しがのふるさと支え合いプロジェクト」は、中山間地域の集落と、企業や大学・高校、NPO 法人等の皆さんが協働活動を行うことで、地域の活性化や新たな価値の創造につながることを目的としています。本プロジェクトは国際目標である SDGs (持続可能な開発目標) を推進する活動にもつながります。

皆さんが中山間地域の農山村でつながり、農山村から新しい風が吹きはじめ、やがて広がっていくことを願っています。



(外務省 HP) <https://www.mofa.go.jp>sdgs>about>



プロジェクトではこんなことができます！

詳細は
こちらから



① 企業、大学、NPO法人等の方

中山間地域の集落や地域活動団体と、地域活性化のための協定を締結して協働活動を行います。この活動は、持続可能な社会づくりに貢献でき、対外的にも評価されている取組です。また学生の方は中山間地域の活性化方策等について実践的に学ぶこともできます。協定の期間は3年間です。協定1年目に、活動に必要な経費に対して補助が受けられます。

中山間ふるさと農村支え合い事業【協働活動支援】

対象	対象となる取り組み	補助額
企業や大学、NPO法人または準ずる団体など	農村集落等と協働し、地域農業や多面的機能の維持・活性化を図る活動や地域資源の活用、住民交流活動など農村の活性化を促進する効果のある取組 ※1年目に協定を締結する必要があります。	左の欄の活動に要する経費(10万円以内)

※補助対象経費(例)…協働活動を行うための旅費、自動車等の燃料代、レンタカー代、消耗品や備品の購入費等

② 中山間地域の集落や地域活動団体の方

地域活性化に向けた話合いや先進地視察、ワークショップなどを行ったり、活性化に向けた実践活動、企業・大学等と協定を締結した協働活動等を行うことができます。また、活動に必要な経費の補助が受けられます。

中山間ふるさと農村支え合い事業【計画策定支援・実践集落等支援】(各1回/団体)

対象	対象となる取り組み	補助額
自治会、地域住民等で組織する地域協議会、土地改良区や自治会等で構成する地域活動団体など	集落等で話合いや先進地視察等を行って、地域の活性化計画をつくるための取組	左の欄の活動に要する経費(15万円以内)
	地域の活性化計画に基づく実践活動や、企業や大学等と連携・協働した活性化を促進する取組	左の欄の活動に要する経費(20万円以内)

※補助対象経費(例)…旅費、バス代、自動車等の燃料代、レンタカー代、消耗品や備品の購入費等

③ その他 ～つながりの場づくり～

「しがのふるさと支え合いプロジェクト」参加団体や中山間地域に関わる方々のつながりの場とするため、交流会等を開催します。



■ : 主な対象地域

詳細は県HPを御覧いただくか、お問合せ下さい。

協定締結までの流れ

詳細や
登録用紙は
こちらから



Step 1



県に相談

プロジェクトに興味を持たれたら、まずはご連絡ください。プロジェクトについてご説明します。

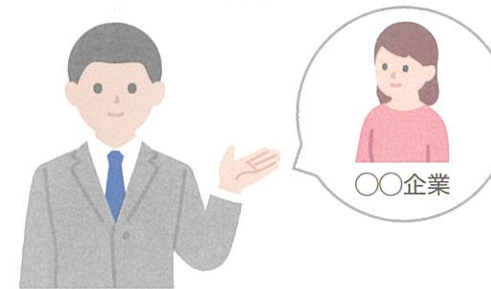
Step 2



参加登録

協働活動の相手先の集落、団体組織等を見つけるために登録していただきます。

Step 3



マッチング

ご希望を伺った上で、協働活動の相手先を県が紹介します。

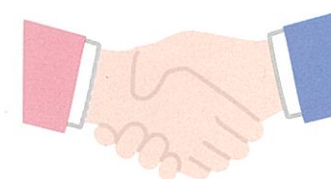
Step 4



顔合わせ・お試し体験、意見交換

県の立ち会いのもと集落を視察したり、意見交換やお試し体験などお互いの理解を深めます。

Step 5



協定の締結(3年以上の協働活動)

協定締結の内容は、両者で話し合って決めていただきます。

Step 6



協働活動スタート

協定締結後も、県は相談役として協働活動を見守ります。

活動事例紹介

大学

龍谷大学農学部食料農業システム学科(大津市)
⇔高島深清水オリーブ産地協議会(高島市)



高島市深清水では、柿園に発生した遊休農地に、獣害に強く栽培に手間のかからない「オリーブ」を植える活動が始まっています。龍谷大学は、オリーブ植樹作業やイベント「柿祭り」、オリーブ茶のパッケージデザイン等をサポートしています。学生の皆さんにとって活動を通じ、「地域の人の思いや課題」を見出し、良い学びの場になっているそうです。

企業

株式会社パソナ農援隊(大阪市)
⇔鶴川棚田保存会(高島市)



高島市鶴川では、鶴川保存会が遊休棚田を開墾して「オーナー制度」に取り組んだり、果樹を栽培するなどの活動を行っています。株式会社パソナ農援隊は、地域活性化のノウハウを生かして、保存会の皆さんと一緒に今後の棚田保全について検討を行っており、新たな取組として「棚田米おにぎり」の商品開発と直売所「うかわファームマート」での販売をサポートしました。今後の展開が期待されます。

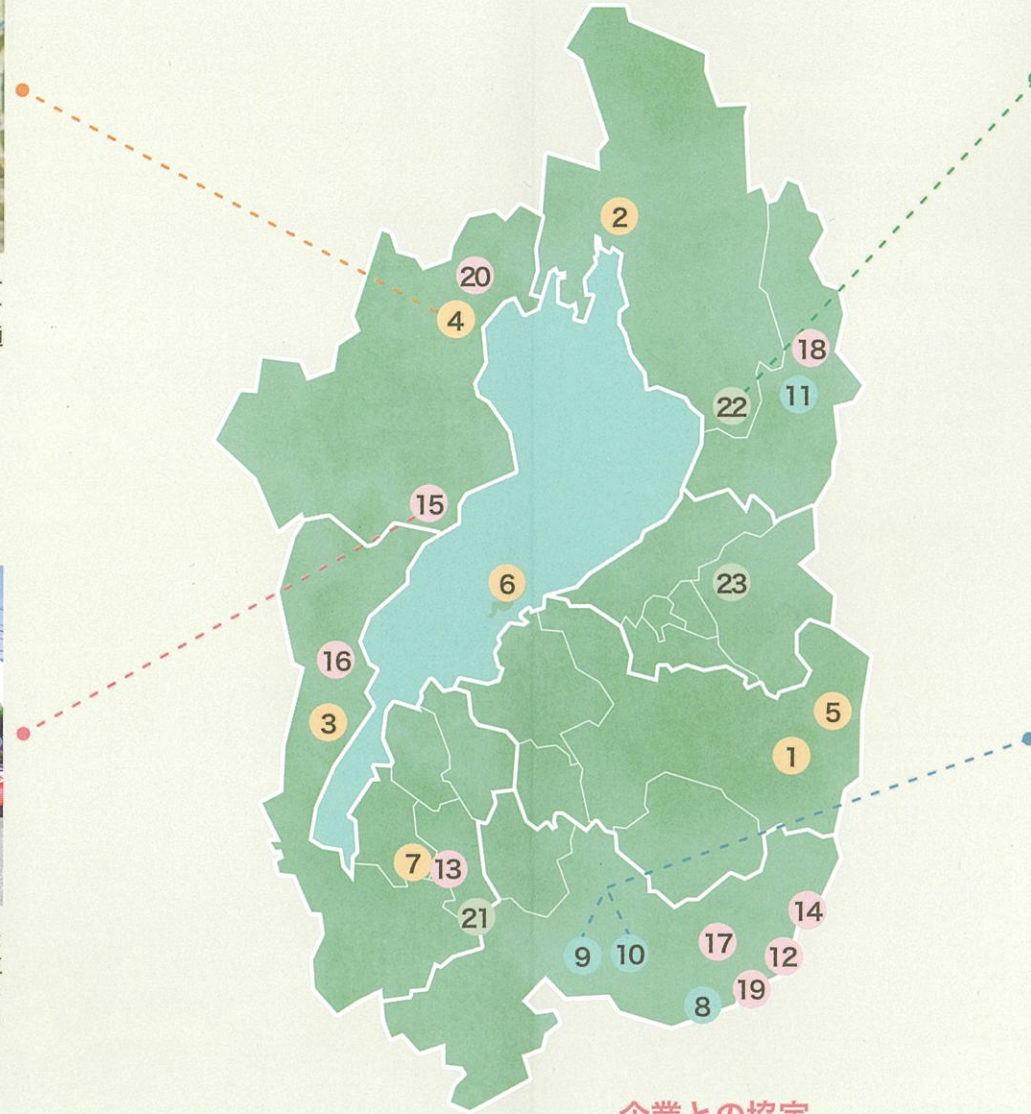
大学との協定

大学	地域	活動内容
1 龍谷大学農学部食料農業システム学科(大津市)	百済寺ブランド認証協議会(東近江市)	都市農村交流、地域資源活用
2 滋賀文教短期大学(長浜市)	池原自治会(長浜市)	棚田保全、地域資源活用
3 成安造形大学(大津市)	仰木自然文化庭園構想八王寺組(大津市)	棚田保全活動
4 龍谷大学農学部食料農業システム学科(大津市)	高島深清水オリーブ産地協議会(高島市)	オリーブ植樹、都市農村交流イベント
5 滋賀県立大学近江楽座「政所茶レン茶、ヤー」(彦根市)	政所茶生産振興会(東近江市)	政所茶生産と情報発信
6 滋賀県立大学近江楽座「座・沖島」(彦根市)	沖島町離島振興推進協議会(近江八幡市)	遊休農地活用や地域行事支援
7 立命館大学経済学部(草津市)	明日の走井を考える会(栗東市)	都市農村交流事業の企画・実施 地域資源の保全

高校との協定

高校	地域	活動内容
8 滋賀県立湖南農業高校(草津市)	宮ベリー(甲賀市)	ブルーベリー栽培支援
9 滋賀県立甲南高校(甲賀市)	うしかい田んぼアート実行委員会(甲賀市)	田んぼアート農作業、6次産業化
10 滋賀県立信楽高校(甲賀市)	うしかい田んぼアート実行委員会(甲賀市)	田んぼアート等のデザイン作成、陶器制作
11 滋賀県立長浜農業高校(長浜市)	伊吹くらしのやくそう倶楽部(米原市)	マコモダケの商品開発、棚田保全

活動状況は県 HP および
農村振興課 Instagram、
Facebook「しがの農業農村」で
随時更新中です!!



NPO法人

認定特定非営利活動法人つどい(長浜市)
⇔布勢町自治会(長浜市)



長浜市布勢では、両者が2haの遊休棚田に蓮を栽培し、棚田を保全しておられます。7~8月にかけてピンクや白色の蓮が満開になり、地域内外の人々の憩いの場になります。また、つどいの利用者の皆さんが収穫した花や実、葉などは、ジャムや酵素ジュース、おこわなど、様々な6次産業化商品に生まれ変わっています。

高校

甲南高校・信楽高校(甲賀市)
⇔うしかい田んぼアート実行委員会(甲賀市)



甲賀市牛飼では、「うしかい田んぼアート実行委員会」が甲南高校、信楽高校とそれぞれ協定を締結しています。甲南高校は田んぼアートの田植え作業を手伝いながら、もち米の6次産業化にチャレンジしています。信楽高校は、田んぼアートの図案作成や商品パッケージデザイン、陶器作成等を担っています。さらに3者が連携し、牛飼の「米」、甲南高校の「卵」、信楽高校作成の「茶碗」がセットになった「卵かけごはんセット」を商品化し、土山サービスエリアで販売しました。

企業との協定

企業	地域	活動内容
12 トヨタ紡織滋賀株式会社(甲賀市)	あけびはら山女原棚田ボランティア委員会(甲賀市)	棚田保全、都市農村交流
13 株式会社パソナ滋賀(草津市)	明日の走井を考える会(栗東市)	棚田保全、都市農村交流
14 株式会社あぐりきず(東近江市)	山女原棚田ボランティア委員会(甲賀市)	クルミ栽培、棚田保全
15 株式会社パソナ農援隊(大阪市)	鶴川棚田保存会(高島市)	地域振興策の検討、棚田保全
16 株式会社ツールドラック(大津市)	仰木自然文化庭園構想八王寺組(大津市)	棚田保全、海外向け情報発信
17 パソナ・パナソニックビジネスサービス株式会社(草津市)	おおざわ大澤集落協定都市農村交流グループ(甲賀市)	果樹園整備、都市農村交流
18 フラットフィールド株式会社(大阪市)	東草野炭焼き&食文化保存会(米原市)	地域資源の商品開発、情報発信
19 土山ハイウェイサービス株式会社(甲賀市)	上の平区(甲賀市)	遊休農地を活用したソバ栽培や6次産業化支援
20 生活協同組合コープしが(大津市)	知内農業組合(高島市)	魚のゆりかご水田の取組 都市農村交流支援

NPO法人等との協定

NPO法人等	地域	活動内容
21 社会福祉法人パレット・ミル(栗東市)	観音寺自治会(栗東市)	農作業の実施、集落行事
22 認定特定非営利活動法人つどい(長浜市)	布勢町自治会(長浜市)	ハスによる棚田再生、6次産業化
23 社会福祉法人杉の子会(多賀町)	多賀にんじんクラブ(多賀町)	多賀にんじんの未活用材の有効活用 農産連携の促進

※締結年度順に記載

※締結年度順に記載